



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス  
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)廣内 武  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部門担当 (氏名)吉沢 正明 (TEL)03(4512)1030  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	207,720	0.8	8,121	△23.4	8,720	△26.5	5,823	1.1
26年2月期第3四半期	206,022	7.4	10,601	△4.4	11,871	0.9	5,757	24.2

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期10,438百万円(△32.6%) 26年2月期第3四半期15,494百万円(186.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	37.09	36.69
26年2月期第3四半期	36.70	36.33

(注) 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更をおこなっています。26年2月期第3四半期についても当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値および対前年同四半期増減率を記載しています。この変更により、売上高および営業利益を変更していますが、経常利益および四半期純利益の変更はありません。詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	345,719	181,639	52.0
26年2月期	313,430	175,028	55.2

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期179,696百万円 26年2月期173,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	24.00	24.00
27年2月期	—	—	—		
27年2月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	277,900	△0.8	7,300	△28.4	8,300	△32.0	4,700	0.9	29.93

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更をおこなっています。増減率については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の前年同期数値を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期3Q	172,921,669株	26年2月期	172,921,669株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	15,902,334株	26年2月期	15,988,357株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	156,990,773株	26年2月期3Q	156,898,636株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株式資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年11月30日)の日本経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、企業収益や雇用環境に改善の動きがみられ、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、消費税増税の影響が予想以上に長引いていることに加え、円安の進行に伴う生活必需品の価格上昇と実質賃金のマイナス傾向が継続していることから、個人消費については引き続き厳しい状況となっています。

当アパレル・ファッション業界においては、消費税率引き上げ前の高額品を中心とする駆け込み需要や訪日外国人による消費の下支えがあったものの、駆け込み需要の反動減や実質賃金の伸び悩み等に伴う消費者の節約志向の強まりに加えて、相次ぐ天候不順の影響も重なり、店頭の販売動向は総じて厳しい状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループは、国内事業、海外事業ともに選択と集中を進め、基幹事業および主力ブランドへ必要な投資を行い、安定的で収益性の高い事業の拡大を図るとともに、今後成長が見込める分野や市場に向けた新規ビジネスの開発を進めました。

国内事業に関しては、グループを挙げて顧客視点に立った質の高い商品・売場環境・サービスをさらに追求したことにより、国内事業全体としては増収を確保しました。但し、中核事業会社であるオンワード樫山を中心に主力のレディース事業の販売が想定を下回ったことなどから、収益面では減益となりました。

海外事業に関しては、欧州事業の構造改革が進む一方で、特にアジア事業の回復が計画より遅れていることから、全体としては厳しい業績となりました。

以上の結果、連結売上高は2,077億20百万円(前年同期比0.8%増)、連結営業利益は81億21百万円(前年同期比23.4%減)、連結経常利益は87億20百万円(前年同期比26.5%減)、連結四半期純利益は58億23百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

#### ① アパレル関連事業

国内事業は、中核事業会社の株式会社オンワード樫山において、Eコマース事業の成長やメンズ事業、子供服事業の回復などの成果がみられたものの、主力のレディース事業が減収となったことや、主要な子会社の業績回復が遅れたことなどから、減収減益となりました。海外事業は、欧州事業で構造改革が進んだものの、特にアジア事業の回復が遅れたことから、減収減益となりました。

#### ② その他の事業

サービス関連事業については、商業施設等の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターが減収となったものの、利益率の高い新規ビジネスの伸長によって増益を確保しました。リゾート関連事業については、計画を上回って順調に推移し増収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ322億89百万円増加し、3,457億19百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ256億79百万円増加し、1,640億80百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ66億10百万円増加し、1,816億39百万円となり、自己資本比率は、52.0%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の通期の連結業績予想につきましては、第3四半期の業績を踏まえ平成26年10月3日に公表しました業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、「営業外収益」に計上していました「受取ロイヤリティー」および「営業外費用」に計上していました「支払ロイヤリティー」を、第1四半期連結会計期間より、それぞれ「売上高」、「売上原価」に含めて計上しています。

当社グループは、海外事業の積極的な収益拡大を目的として、欧州地区でオンワードラグジュアリーグループの高品質な商品の生産機能と、ジルサンダーグループの高いブランド力とのシナジーを更に高めるために、事業会社の再編を進めるなど、「ブランド軸経営」の推進を加速しています。このような状況の中で、ブランドにかかる当該収入の金額的重要性が、今後さらに高まることを見込まれることから、当社グループの実態を適切に表示するために変更をおこなうものです。

また、この変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取ロイヤリティー」に表示していた580百万円は「売上高」に、「営業外費用」の「その他」に含めて表示していた「支払ロイヤリティー」103百万円は「売上原価」に組替えています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,375	25,067
受取手形及び売掛金	28,250	40,525
商品及び製品	34,365	42,254
仕掛品	1,668	1,097
原材料及び貯蔵品	4,645	4,940
その他	14,677	14,687
貸倒引当金	△635	△632
流動資産合計	110,349	127,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,843	27,143
土地	56,322	54,760
その他(純額)	18,712	17,079
有形固定資産合計	102,878	98,983
無形固定資産		
のれん	29,740	28,149
その他	4,535	6,870
無形固定資産合計	34,276	35,020
投資その他の資産		
投資有価証券	49,161	51,676
その他	19,736	32,825
貸倒引当金	△2,971	△726
投資その他の資産合計	65,926	83,776
固定資産合計	203,081	217,779
資産合計	313,430	345,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,305	43,434
短期借入金	44,956	47,696
未払法人税等	955	4,978
賞与引当金	1,286	3,660
役員賞与引当金	186	122
返品調整引当金	496	652
ポイント引当金	264	330
その他	14,557	17,147
流動負債合計	101,009	118,023
固定負債		
長期借入金	13,901	22,415
退職給付引当金	3,420	3,380
役員退職慰労引当金	136	151
その他	19,932	20,109
固定負債合計	37,391	46,057
負債合計	138,401	164,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	121,007	124,268
自己株式	△23,052	△22,919
株主資本合計	178,077	181,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,004	8,982
繰延ヘッジ損益	△33	172
土地再評価差額金	△12,502	△13,871
為替換算調整勘定	2,550	2,940
その他の包括利益累計額合計	△4,981	△1,775
新株予約権	823	867
少数株主持分	1,109	1,074
純資産合計	175,028	181,639
負債純資産合計	313,430	345,719

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	206,022	207,720
売上原価	106,686	108,550
売上総利益	99,336	99,169
販売費及び一般管理費	88,734	91,048
営業利益	10,601	8,121
営業外収益		
受取利息	109	74
受取配当金	321	354
受取地代家賃	448	526
その他	1,450	1,037
営業外収益合計	2,330	1,993
営業外費用		
支払利息	422	423
売場什器等除却損	184	334
持分法による投資損失	63	403
その他	389	232
営業外費用合計	1,059	1,394
経常利益	11,871	8,720
特別利益		
固定資産売却益	186	639
投資有価証券売却益	887	3,768
特別利益合計	1,073	4,407
特別損失		
減損損失	128	396
特別退職金	77	647
その他	151	213
特別損失合計	358	1,256
税金等調整前四半期純利益	12,587	11,871
法人税等合計	6,797	6,039
少数株主損益調整前四半期純利益	5,790	5,832
少数株主利益	32	8
四半期純利益	5,757	5,823

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,790	5,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,211	3,957
繰延ヘッジ損益	44	206
為替換算調整勘定	3,013	374
持分法適用会社に対する持分相当額	434	67
その他の包括利益合計	9,704	4,606
四半期包括利益	15,494	10,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,397	10,398
少数株主に係る四半期包括利益	96	40

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	155,808	32,044	5,421	193,275	12,747	206,022	—	206,022
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,177	446	299	1,923	6,436	8,359	△8,359	—
計	156,986	32,491	5,720	195,198	19,183	214,382	△8,359	206,022
セグメント利益又は損失 (△)	12,731	△268	△678	11,784	471	12,256	△1,655	10,601

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,655百万円には、のれんの償却額△2,492百万円およびセグメント間取引消去3,009百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,171百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(注) 3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」に記載のとおり、第3四半期連結累計期間について表示方法の変更にもなう組替え後の数値を記載しています。

この結果、外部顧客への売上高がアパレル関連事業(日本)において159百万円、(欧州)において419百万円、(アジア・北米)において1百万円、合計580百万円増加し、セグメント利益がアパレル関連事業(日本)において77百万円、(欧州)において419百万円、(アジア・北米)において△19百万円、合計477百万円増加しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	158,583	31,334	4,998	194,917	12,802	207,720	—	207,720
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,063	1,589	442	3,095	6,488	9,584	△9,584	—
計	159,647	32,924	5,441	198,012	19,291	217,304	△9,584	207,720
セグメント利益又は損失 (△)	11,350	△540	△1,017	9,792	612	10,405	△2,284	8,121

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,284百万円には、のれんの償却額△2,469百万円およびセグメント間取引消去3,018百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,833百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間における、重要な発生および変動はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。